

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-835	
評価技術名称					連絡先	https://www.aichi-gensai.jp			
部分開口 土壁評価					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会				
土壁「上下あき面材補強」					実験実施機関 :名古屋工業大学				
概要	技術概要 上下があいた土壁に構造用合板を用いて補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
<ul style="list-style-type: none"> <li>一般的な納まり</li> <li>金物を入れるために切り欠いた時に有効</li> </ul>						サンプル構面		—	
						設計見積り例		—	
仕様	適用範囲				写真・図				
	構法	木造在来軸組工法							
	規模	3階建て以下							
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内外壁							
	その他	特になし							
	主要構成部材の仕様								
	土壁 厚40以上、貫 3本以上、柱 90角以上								
	構造用合板 厚12mm								
	アルミ不等辺アングル 9×40 t=1.5 またはこれ以上のサイズのもの								
耐震性能									
評価仕様: 土壁仕様 貫あり									
塗厚		壁基準耐力	壁基準剛性						
40mm以上 50mm未満		1.44kN/m	288kN/rad./m						
50mm以上 70mm未満		1.68kN/m	336kN/rad./m						
70mm以上 90mm未満		2.1kN/m	408kN/rad./m						
A-811からの低減係数 $\alpha = 0.6$									
設計方法				土壁 厚40mm以上 90mm未満 貫 15×75mm 3本以上 柱 90mm角以上 構造用合板 厚12mm タッピングビス(3×30)、木ビス(コーススレッド 3.8×32)、セルフドリルネジ(4×30)のいずれか @100mm以下 平打ち アルミアングルが逃げる場合は先孔 φ3 を開ける 縦受材 アルミアングル 木ビス(コーススレッド 3.8×32、先孔 φ3) アングル角部を斜め打ち					
①柱接合部による低減 取付部分が健全であること									
②劣化による低減 取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
その他 アルミアングル納まり図									
○良い例									
×悪い例									
木ビスはアルミアングル短辺の中央付近に打たず、なるべくコーナー付近に打つ									